

競技注意事項

1、競技規則について

本大会は、2024年度（公財）日本陸上競技連盟競技規則ならびに本大会申し合わせ事項により実施する。

2、ウォーミングアップについて

- (1) 大会当日の練習については、7：30～8：45まで競技場内での練習を認める。また、雨天走路及び競技場北西部にある直走路を各自使用すること。ただし、雨天走路はストレッチ・ドリル程度の使用とし、スパイクを履いての走行は禁止とする。直走路は混み合う可能性があるため、練習の際は怪我・事故等のない様に細心の注意を払うこと。主催者は一切責任を負わない。
- (2) 投てき練習、跳躍練習は競技開始前に各ピットで競技役員の指示により行う。
- (3) 芝生を使った練習は禁止する。
- (4) 競技中、練習場所確保のため競技場のバックストレートを開放する。競技の妨げにならないよう、開放中であっても使用については審判の指示に従うこと。また、開放時間の詳細は追って連絡する。

3、招集について

- (1) トラック種目は第1ゲート（100mスタート）側器具庫に設け、フィールド種目は現地招集とする。
- (2) 招集開始時刻および招集完了時刻は、プログラムの競技日程に記載する。
- (3) 2種目以上を同時刻に兼ねて出場する場合には、他種目同時出場届（招集所に用意）に記入して招集所（競技者係主任）に提出すること。
- (4) リレー競技はオーダーの変更の有無にかかわらず、その都度オーダー用紙（招集所に用意）に1チームにつき1部記入して、**招集完了時刻1時間前まで**に招集所（競技者係主任）に提出すること（リレー競走についてはTR24を参照のこと。）。
リレー競技の申込のときのチーム編成は原則として6人だが、どのラウンドにおいてもその競技会のリレーまたは他の種目に申し込んでいる競技者であれば出場することができる。但し、どのラウンドにおいても出場するメンバーのうち少なくとも2人はリレーに申し込んだ競技者でなければならない。最初のラウンドに出場した競技者は、その後のラウンドを通して、2人以内に限り、他の競技者と交代することができる。（TR24.10参照のこと。）
- (5) **招集完了時刻に遅れたものは、欠場として処理する（当該種目のみ）ので十分注意すること。**
- (6) シューズ検定については、審判長および競技役員が疑義を抱いた場合、検査を実施する。
- (7) 競技場規則TR6により、スマートフォンなどの機器を競技場に持ち込むことはできない。
- (8) 競技者の準備が整った場合、競技開始時刻よりも前に競技を開始する場合がある。

4、アスリートビブスについて

- (1) アスリートビブスは各自で準備すること。大学生は2024年度に本連盟が配布したビブスを使用し、一般および高校生はエントリーの際に入力した登録陸協ナンバーのビブスを使用すること。なお、3000m以上の競技については、アスリートビブスにて招集を受け、招集係より配布されたレーンナンバーの特別ナンバーカードビブスを使用すること。特別ナンバーカードビブスは招集完了時刻の1時間前までに招集所に受け取りに来ること。
- (2) 跳躍種目については、胸、背の一方だけでよい。
- (3) トラック競技に出場する競技者は、招集所にて配布する腰ナンバーカードをパンツの右横やや後方に取り付けること。

5、フィールド競技について

- (1) フィールド競技における持ち時間は各種目1分とする。なお、走高跳と棒高跳についてはTR25.17に則って行う。
- (2) 走幅跳及び三段跳は、Aピット・Bピットの二つのピットで行う。また、三段跳は踏切板の位置を変えて行う場合がある。
三段跳において、Aピットは踏切板から砂場の近い方の端までの距離を男子は11m、Bピットは10m、女子は8mとり、競技を行う。ただし、競技者レベルに合わせて審判長が判断し、男女ともに砂場までの距離を変更する場合がある。
- (3) 走高跳・棒高跳のバーの上げ方は、下記の通りとする。

種目		練習	1	2	3	4	5	6
走高跳	男	注1	1m35	1m40	1m45	1m50	1m55	1m60
	女		1m15	1m20	1m25	1m30	1m35	1m40
棒高跳	男		3m00	3m20	3m40	3m60	3m80	4m00
	女		1m80	2m00	2m20	2m40	2m60	2m80

注1 男女走高跳及び棒高跳の記録は幅があるため、練習並びにバーのあげ方は審判との調整で決定する。

※記載の高さ以降は、走高跳はそのまま5cmずつ、棒高跳は10cmずつ上げることとする。

- (4) 男子砲丸投・円盤投・ハンマー投に関しては、一般・大学及び高校で重量が異なるので、重量別に競技を行う。
- (5) トップエイトを取らずに、3回試技で行う。
- (6) 投擲種目は、公式練習は設けないが、競技開始45分前からフリー練習の時間を設けることとする。

6、競技用器具について

- (1) 競技用器具は、競技場備え付けのものを使用し、個人の器具を持ち込んではいない。ただし、棒高跳用ポールに限り、個人のものを使用することができる。
- (2) 競技場は全天候舗装であるので、スパイクのピンは9mm以下のものを使用すること。ただし、走高跳・やり投では12mm以下のものを使用すること。また、競技シューズについては、800m以上では、靴底の厚さ25mm以下を使用すること。

7、抗議について (TR.8 参照)

競技進行中に起きた競技者の行為、または順位に関する抗議は、その競技者、または代理人より結果が正式発表（アナウンス）されてから30分以内（次のラウンドがある場合は15分以内）に、担当総務員を通して口頭で審判長になされなければならない。審判長の裁定に不服の場合は、上訴申立書と預託金1万円を添えて上訴審判員に上告することができる。この預託金は、抗議が受け入れられなかった場合は没収される。

8、スタートについて

- (1) 不正スタートを行った場合、ただちに競技者は失格となる。
- (2) 不適切行為を行った場合、1回目は警告で留めるが、同一の競技者が2回目以降（別種目においても）同様な行為を行った場合それぞれ不正スタートを行ったものとして扱うので、注意すること。

9、その他

- (1) 競技者の付き添いは一切認めない。従って競技者以外は、トラックならびフィールド内に立ち入ることはできない。
- (2) 大会期間中、競技者は本部前の通行を禁止する。
- (3) リレーにおいて、ユニフォームは各団体統一すること。（短パン・スパッツ・ランニング・長袖・レオタード・セパレートの違いなどは許容範囲）
- (4) 各所属の共用荷物の保管場所は、必要最小限に留め、個人的に場所を確保すること。雨天走路、更衣室を待機場所としての使用は禁止とする。また、その他、待機場所を制限することがあるので係の指示に従うこと。
- (5) ゴミは各自持ち帰ること。
- (6) 競技場及び周辺施設の器具などを破損した場合はその団体から弁償代を徴収する。
- (7) 開門・閉門時間は以下の通りとする。

	(開門時間)	(閉門時間)
大会前日……………4月5日（金）	14：00	17：00
第1日目……………4月6日（土）	7：30	18：00
第2日目……………4月7日（日）	7：30	17：00

- (8) 集団応援の場所はバックスタンド・サイドスタンドで行い、メインスタンドでは行わないこと。
- (9) 主催者は競技中の発病・負傷に対しては応急処置以外の責任を負わない。ただし、2024年度公益社団法人日本学生陸上競技連合普通会員は、原則としてスポーツ安全保険に加入しているので、この保険が適用される場合がある。
- (10) 当日体調不良等があるものは大会への参加を控えること。